

学校通信



石薬師 (いしやくし)

鈴鹿市立石薬師小学校 令和2年9月18日 第12号

TEL 374-1028 FAX 374-1057

<http://www.edu.city.suzuka.mie.jp/sp/esishiyakushi>

HPでもご覧になれます

6年生が日帰りキャンプに行ってきました

9月11日(金)に6年生は日帰りキャンプを行いました。例年は宿泊学習として行いますが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策を行いながらのデイキャンプとなりました。

午前中に関宿へ行き、ウォークラリーを楽しみました。グループでクイズを考えたりミッションをクリアしたりしました。

その後三重県立鈴鹿青少年センターへ行き、芝生の上でお弁当を食べ、午後は散策や焼杉プレートの製作をしました。

天気が心配されましたが、関宿ではウォークラリー前に雨はあがり、青少年センターでも外での活動時には好天でした。

キャンプファイヤーも無事行うことができました。



今年は、飯盒炊さんや宿泊ができませんでしたが、子どもたちは友だちと一緒に学校外での活動を思いっきり楽しみました。どの子にも笑顔があふれ、友だち同士で協力する姿が見られました。

関宿の昔ながらの風景は
時代変われど変化してかぬ
市川和樹

関宿を歩いている人会った時
あいさつかわしてにっこり笑顔

稲寄蓮那

全員でたった一つの火を囲み
体と心 共にぼかぼか

岡本真弥

友達とうたっておどって盛り上がる
みんなで過ごしたすてきな一日

田中杏奈

デイキャンプ運が良すぎて
ずっと晴れ
どんな時でも協力し合う

伊藤小陽

雨の後森のさんさくりレーして
すべりころんで大ばく笑

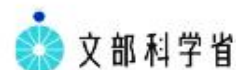
市川大暉



半日作業ありがとうございました

9月12日(土)に半日作業が行われました。6月は新型コロナウイルス対応で中止になり、今年度初めての作業でした。PTAの地区委員さんと学級委員さんと教職員とで学校敷地内の除草、剪定作業を行いました。今年度は石明協にもお声がけし、ボランティアとして近藤春生さん、谷口光男さん、伴紀征さん、山田雅一さんにお世話になりました。すっかりきれいにしていただき、気持ちよく学習や運動ができ、運動会が迎えられますようになりました。本当にありがとうございました。

文部科学大臣が「新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて」というメッセージを、児童生徒・学生、教職員はじめ学校関係者、保護者や地域に向けて発表しました。差別・偏見を許さない教育に取り組みます。



保護者や地域の皆様へ

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せずに、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

令和二年八月
文部科学大臣 萩生田 光一

